

CASE革命～自動車産業の未来図～

株式会社ナカニシ自動車産業リサーチ 代表アナリス・パートナ
ー 中西 孝樹



実学習時間

4h

難易度

★★

受講料

¥11,000

税込

学習目標と狙い

自動車産業がどのような変革期を迎えているのかを学び、新型コロナウイルス感染症が及ぼすモビリティへの影響を分析を加えCASEの未来を学ぶ。

新入社員 全ての階層で共通するコンピテンシー (イノベーション) 経営職



受講期間	講義	理解度テスト	演習	チャメール	修了証	修了アンケート	制作年
6ヶ月	4回(平均60分)	なし	なし	あり	あり	なし	2021

学習プログラム

PDU

4

- 第1回 CASE概論とコネクティッドを理解する
 第2回 自動運転を理解する
 第3回 電動化～不可逆的な脱炭素への流れ
 第4回 シェア&サービスとクルマの未来
 ゲスト：宮代 陽之氏（国際経済研究所 非常勤フェロー）

【概要】

CASEとは、Connected（車がIoTの端末になること）、Autonomous（自動運転）、Shared & Services（共有サービス）、Electric（電動化）の頭文字を取った造語です。2016年にダイムラー社が2016年に発表した中長期戦略が自動車業界全体の動きに合致するものだったため広く使われるようになりました。伝統的な自動車産業のビジネスモデルは、巨額の設備投資を実施し、その資本回収のスピードを競うゲームでしたが、MaaS（サービスとしてのモビリティ）の世界では、サービスを提供する事業者を囲い込んだエコシステム（収益構造）を構築できるかが重要な競争力であり、移動距離や利用時間をもとに課金する新しいビジネスの拡大に対応しなくてはならなくなりました。自動車メーカーは、MaaSに不可欠なプラットフォームを築き、データを支配し、魅力的なサービサーを囲い込むといった、これまでにない、新しい能力が求められています。本講座では、自動車産業がどのような変革期を迎えているのか解説し、新型コロナウイルス感染症が及ぼすモビリティへの影響を分析を加えCASEの未来図を説明します。



10661